

1 1月の管理

茶 施肥 耐寒性の向上 (チッソの消化を早くさせる)
サルポマグ 60kg又はキョウジン40kg(10a 当たり)

堆肥の補給

ゴールドエンバーク 反当り 50～100袋又はVS堆肥50～100袋

*****茶園ではすでに来春のための準備を始めています。*****

秋整枝をしてから茶園ではすでに来春のための準備を始めています。来年の一茶の養分を蓄えるための根をたくさん張らせてきています。真冬でも少しずつ窒素を吸収していく茶樹の根にそのままムダなく吸わせることのできる肥料「ハイエスサン7-0-0」「プロアミノS 5-1-1」がおすすめです！

12月～1月にかけて“プロアミノS”“ハイエスサン”10a 当り5体の雨落ちへの散布が効果！

★**微量要素の補給**・・・生育回復、葉色回復、収量増収に！

2月施用は、葉色、水色、色沢、香気、収量UP効果が出ます。

サンメイト 10a 当り 2～3体の施用 水分があれば良く溶けます。

防 除

◆**チャトゲコナジラミ**

◎上旬 発生園のみ：多発園 ハチハチ乳剤 1000倍-14日ー1回 散布量400ℓ/10a
： 中～少発生 コルト顆粒水和剤 3000倍7日ー2回

◎11月下旬～2月中旬まで ハーベストオイル50～100倍、ラビサンスプレー75～100倍
散布量400ℓ/10a 2回散布（12～1月・2月中旬）

◆**赤焼け病の予防**（銅の補給）（11月～12月）※オイルとの間隔7～10日空ける

◎ コサイド3000 1000倍(14日-)

◎ バイエルボルドー 500倍(21日-)

◎ ベブドー 500倍(14日2回)

◎ カッパーシン 1000倍(30日1回)

オイル散布時、気温25℃以下である事！

+ **アビオン E1500倍 パラフィン展着剤**

◆**ナガチャコガネムシ(幼虫) 20日以降～**

幼虫が地表から5～10cmまで上がってきた頃に散布、雨が降った翌日、湿っている頃に散布すれば効果が上がります。

*スミチオン70(乳) 4000倍 (11月20日以降～12月末ー1回)

雨落ち内部 10a 当り5000ℓ目安に灌水

◆その他作業

裾刈り、化粧ならし、防寒（敷草、敷藁、防風ネットなど）

※化粧ならし は、越冬芽の動きが完全に止まった**11月中旬頃～** 行う事！

絶対に深くないように、秋整枝面より1cm位上げて行い、茎を刈らない位置を確かめた様子で秋整枝面から5ミリでも良い園地もあります。

◆幼木園の摘心又は整枝！

11月下旬までに、頂芽を上から4～5枚のところで摘心する。又は樹高の半分～1/3程度を刈り落とし整枝する。

イチゴ

- ◎**スーパーアミノアップ液剤** 発根促進に効果大。発根促進ホルモンが入っています。
↑500倍葉面散布が効果あります。500cc～1ℓの土壌灌水。

◎**酵力+ (こうりきプラス) 500倍** 7～14日おき散布。開花～収穫10日前を目安に2回散布！
果実の肥大は、もちろん葉が元気になり根張りも良くなり先青・奇形果を少なくできます。
農薬と混用散布で開花以降2回散布で効果が上がります。

- ◎**ナチュレパワー**：天然物100%糖度,着色,を増す。匂いや刺激で害虫、病気が付きにくくなる。
300～500倍(蜂入れ翌日又は乾いた後) 1ℓ入、(5ℓ入 予約)

- ◎**石灰欠乏に効果大、果実堅、糖度向上にカルプラス 1ℓ入 500倍 (7～14日おきに散布)**

- ◎**追肥 マルチ前** 畝の株間(畝肩)にぼかし万次郎を5～8体を施用。軽くつつく程度。
マルチ後 通路に施用。又はいちご専用液肥を10a、10～20kgをチューブ灌水。

防除

- 灰色かび病** カンタスDF 1500倍-前日-3回、アフエットF 2000倍 前日-3回
うどんこ病

タピジェル(WH) 800～1000倍 前日-・・・治療 残効無し 予防剤等混用の事！
ガッテン乳剤 5000倍-前日-2回・・・予防～発生はじめ
アフエットF 2000倍 前日-3回・・・予防主、
ジーファイン(水) 1000倍 前日-制限なし・・・治療
サンクリスタル(乳) 500倍 前日-制限なし・・・予防主、
カットインα(乳) 1000倍(肥料登録)・・・治療

ヨトウムシ

	安全基準	ハチ入れ日数	天敵(カブリダニ)
プレオファアブル 1000倍	前日-4回	乾けば良い	影響なし
プレバソン(F) 2000倍	前日-2回	翌日	影響なし
フェニックス(顆粒水) 2000倍	前日-2回	1日	影響なし

ハダニ

	安全基準	ハチ入れ日数	天敵(カブリダニ)
タピジェル(WH) 800～1000倍	前日-	乾けば良い	影響なし
スターマイト(F) 2000倍	前日-1回	1日	影響なし
ダニサラバ(F) 1000倍	前日-2回	1日	影響なし
コロマイト(水) 2000倍	前日-2回	1日	7日前

*ナチュレパワーG 500倍(天然物マツニ,殺卵,殺幼虫) 乾燥後 乾燥後

コナジラミ ボタニガードES 500倍+ウララDF 2000倍(前日2回) 蜂・天敵 影響なし
ボタニガードES 500倍+チェス顆粒水和剤 5000倍 蜂翌日、天敵影響無

水稲

*施肥 改良剤の投入 フルマーク 100～200kg
*除草 タッチダウンiQ(乳) 1年生雑草 250～500ml 25～50ℓ/10a
: 多年生雑草 500～1,000ml 25～100ℓ/10a
*米の貯蔵 ネルパック 1袋30kg入れ(ムシ、カビ等の予防及び新鮮味の保持)

種もみ注文受け付けしています。

ミカン **注意！オルトラン登録削除・・・使用しない事！！**

<追肥> 上旬 普通温州、ネーブル、オルガニン6号 60kg/10a

<浮皮防止> セルバイン(溶) 300倍

生理落下終了後～着色期までに20～30日間隔で2～3回散布。

*又ダニの多い園では、オマイト(水)750倍-14日2回を混用。

<糖度アップ> 胚芽リン酸を20～40kg/10aを施用する。

<貯蔵病害予防> 収穫30日～10日前に使用する。

ベンレート(水)4000倍-前日2回、トップジンM(水)2000倍-前日5回

ダイコン ***注意！オルトラン水和剤は登録削除されています。**

<追肥> ダイホスカNKV1(16-3-13)、金鱗化成(14-10-13) 60kg

<防除>

*ヨトウムシ、コナガ、アオムシ 登録変更↓

プレオフロアブル1000倍(14日2回)、ディアナSC2500～5000倍(2前日2回)

ノーモルト(乳)2000倍(21日2回)、アディオン(乳)2000倍(30日4回)

*ハイマダラノメイガ、コナガ フェニックス顆粒(水)2000倍(7日2回)

*コナガ、アオムシ スピノエース(顆粒水)2500～5000倍(7日3回)、

アフーム乳剤1000～2000倍(7日3回)、

*アブラムシ モスピラン水溶剤2000倍(14日1回)、マラソン乳剤2000倍(14日6回)

*キスジノミハムシ (タネバエ、土寄せ時) ダイアジノン(粒)6kg(21日2回)

*軟腐病 スターナ(水)1000倍(14日5回)、カップーシン(水)1000倍(14日3回)

*白さび病、ワッカ症 ダコニール(F)1000倍(45日3回) 間引き後散布する。

ハクサイ

<追肥> ダイホスカNKV1(16-3-13)又は金鱗化成(14-10-13) 40kg

<防除>

*軟腐病 スターナ(水)1000倍(7日3回)、アグリマイシン(水)1500～3000倍(14日3回)

*白斑病 ダコニール(F)1000倍(7日2回)、トップジンM(水)1500倍(7日2回)

*オオタバコガ、アオムシ、コナガ、ヨトウムシ プレオフロアブル1000倍(7日2回)

*コナガ、ヨトウムシ、アオムシ アフーム乳剤1000～2000倍(7日3回)

レタス

スーパーアミノアップ液剤 発根促進に効果大。発根促進ホルモンが入っています。

500倍 葉面散布が効果あります。

生育促進、微量元素の補給 スミカグリーンLF2号(1.5-3-4)1000倍

<防除> *銅剤は、トンネル掛け前に散布する。

すそ枯病、軟腐病、腐敗病 ソタール(WDG)1000倍(7日-2回)

シトラノ(F)1000倍(21日-3回) *べと病登録あり

斑点細菌病、腐敗病 キノンドー(F)800～1000倍(21日-5回) *軟腐病登録あり

カップーシン(水)1000倍(7日-4回) *銅水和剤はクレフル100倍加用(薬害軽減)

オオタバコガ、ハスモンヨトウ プレバソン(F)1000～2000倍(前日-3回)

プレオ(F)1000倍(7日-2回)、アフーム(乳)1000～2000倍(3日-3回)

べと病、アブラムシ、ナメクジ、ナモグリバエ ハチハチ(乳)1000倍(3日2回)